

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	人工股関節全置換術後の術側股関節外転筋力向上群と低下群の比較検討
当院の研究責任者	リハビリテーション課 堀尾 健太
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	人工股関節全置換術（以下：THA）の股関節外転筋力は歩行能力や跛行の有無に関係しているとされている。また、当院の THA クリニカルパスでは退院が術後 3～4 週となっている。本研究では術後 4 週時点での股外転筋力の向上群と低下群での比較検討を行い、筋力向上、低下と関与があった因子を検出し効果的な運動療法、プログラム立案を再考する。
調査データ 該当期間	2017 年 4 月から 2019 年 4 月末日
研究の方法 (使用する資料等)	上記期間内に、済生会松阪総合病院整形外科に入院し変形性股関節症、大腿骨頭壊死にて THA（前外側アプローチ）施行となった方 調査項目は、年齢、性別、体重、術前脚長差、脚延長量、疼痛（安静時・荷重時）、歩行能力（速度・歩数）、股関節可動域、筋力（術前・術後 2 週、4 週）である。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	特にありません。
お問合せ先	0598-51-2626 リハビリテーション課 堀尾 健太